

2020年東京オリンピック・
パラリンピックに向けた取組の
基本方針

【目次】

1	基本方針策定の目的 ～次世代へ千葉の宝を引き継ぐために～	1
	(1) 千葉県にとっての東京オリンピック・パラリンピックの持つ意義	1
	(2) 基本方針策定の目的	2
2	千葉からCHIBAへ ～世界中にCHIBAをPRするために～	3
	(1) 2020年 世界から人々がやってくるCHIBA	3
	(2) 合言葉はCHIBA	3
3	取組の方向性	9
	(1) キャンプの誘致とスポーツ振興による地域の活力づくり	10
	(2) 人と物のスムーズな流れの確保	12
	(3) 魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上	13
	(4) 大会のサポート	15
	(5) 戦略的な千葉の魅力発信	16
4	取組に当たって	17
	《用語解説》	18

1 基本方針策定の目的 ～次世代へ千葉の宝を引き継ぐために～

オリンピック・パラリンピックの開催は、国や世代、文化を越えた交流を通じて、日本を夢や希望に溢れた社会にする千載一遇のチャンスです。

1964年の東京オリンピックという国際舞台では、先人達が底力を示し、素晴らしい財産を残してくれました。今、私たちがその恩恵を享受しています。

今回のオリンピック・パラリンピックでは、私たちだけが恩恵を享受するのではなく、次世代を担う子どもたちが恩恵を得られるよう、千葉の魅力を高める未来への投資を行い、千葉県の発展につながる、「宝」づくりに取り組んでいくことが我々世代の使命です。

そして、2020年東京オリンピック・パラリンピックを、高めた魅力を世界にお披露目する場と位置付け、多様な千葉の魅力を広く世界に発信していきます。

(1) 千葉県にとっての東京オリンピック・パラリンピックの持つ意義

○未来に向けた「人づくり」と「共生社会」の実現

オリンピック・パラリンピックは、世界中の多くの国や地域から、選手の方々が参加し、多くのボランティアに支えられて開催されるものです。ボランティア活動への参加やさまざまな国や地域の人々との交流は、千葉県の将来を担う「人づくり」のチャンスです。オリンピック・パラリンピックの開催により生まれるレガシー（持続的効果）の中でも、「人」こそが最高のレガシーであると考えます。

この機会を捉え、県民のボランティア参加への機運を醸成するとともに、国際社会で必要とされるコミュニケーション能力を高め、世界で活躍できる真の国際人を育てます。

また、オリンピック・パラリンピック選手との触れ合いを通じて、子どもたちに挑戦することの素晴らしさ、目標に向かって努力することの尊さを伝えるとともに、誰もがお互いを理解して支え合い、国籍や年齢、性別、人種、民族や障害の有無等にかかわらず安心して暮らせる共生社会の実現を目指します。

○大会の波及効果による「経済活性化」

東京都によると、大会期間中の観客・動員は約1,010万人、1日あたり最大92万人、経済波及効果は約3兆円に上ると推計されています。

開催地の東京に隣接し、成田国際空港（以下「成田空港」という。）や東京湾アクアライン（以下「アクアライン」という。）を有する立地条件を最

大限に生かし、千葉ならではの魅力あふれる観光地づくりや、外国人が安心して快適に滞在できる環境づくりを進めることにより、宿泊・観光等への消費拡大や施設整備に係る県内事業者への建設需要等を促し、本県経済の活性化を目指します。

○「国際社会の中で発展するCHIBA」の実現

大会には、世界から多くの選手団や観戦客の訪日が予想されます。また、国は、年間訪日外国人旅行者数を、2013年の1,000万人から2020年に向け、2,000万人の高みを目指すとしています。

海外に対する興味・関心が高まってきているこの機をとらえ、外国の文化、宗教、生活習慣等における多様性の理解を深めるとともに、観光案内板等の多言語化、インターネット環境の整備、外国語教育の充実など様々な分野で国際化を進め、千葉のアイデンティティーをしっかりと発信しながら、国際社会の中で発展するCHIBAの実現を目指します。

(2) 基本方針策定の目的

以上のような、本県にとっての東京オリンピック・パラリンピックの意義を踏まえ、開催効果を本県の一層の発展につなげ、その効果を次世代にしっかりと引き継ぐための取組を官民が一体となった「オール千葉」体制で進める指針として、基本方針を策定します。

2 千葉からCHIBAへ ～世界中にCHIBAをPRするために～

(1) 2020年 世界から人々がやってくるCHIBA

成田空港を有する本県には、世界中から人々がやってきます。

来日した多くの外国の方々に千葉の魅力を知ってもらい、日本の千葉から世界のCHIBAへ知名度を高め、さらに多くの人々が千葉を目指して来訪していただけるように、今ある千葉の強み・特性を磨き上げていくとともに、これから、2020年に向け、海外の方々が安心して快適に旅行を楽しめる魅力あふれる“CHIBA”を作り上げていかなければなりません。

(2) 合言葉はCHIBA

海外から人々がやってくる2020年の“CHIBA”の姿を**C・H・I・B・A**の5つのポイントで整理しました。

この魅力あふれる姿を、これから「オール千葉」による体制でつくりあげ、「合言葉はCHIBA」のもと世界中にPRしていきます。

「合言葉はCHIBA」

Convenient & Comfortable (便利で快適な観光地CHIBA)

- 便利な交通アクセス
- 様々なニーズに対応できる充実した宿泊施設
- 安全・安心な「まち」
- 過ごしやすい気候

Hospitality & Health (おもてなしの心で満足と元気を届けるCHIBA)

- おもてなしの心でお迎え
- 通訳ガイド・観光ボランティアの充実
- 外国人にも分かりやすい表示
- エビ・ビルデザインを取り入れた空間
- 「する」「みる」「ささえる」すべて

Innovative & Informative (先端技術でお出迎えするCHIBA)

- 公衆無線LANの普及
- ICTを活用した多言語による観光案内
- 時代を先取りした産業技術の発信

Beautiful & Bountiful (風光明媚、食の宝庫CHIBA)

- 昔からのまち並み
- 美しい和食
- 豊富で新鮮な農林水産物

Adventure & Amusement (見る・遊ぶ・体験できるCHIBA)

- 魅力的な観光スポット
- 特色ある多様な文化

① Convenient & Comfortable (便利で快適な観光地CHIBA)

○便利な交通アクセス

日本の空の玄関である成田空港は、千葉県にあります。

成田空港から東京方面へは、3つの鉄道が運行している他、シャトルバスやリムジンバスが早朝から夜遅くまで運行しており、1時間程度で東京駅に到着することができます。

浦安市や千葉市をはじめ、東葛・湾岸エリアなどに宿泊することにより、1時間以内でオリンピック・パラリンピック会場に到着し、試合を観戦することができます。

さらに、成田空港からLCC（格安航空）をはじめとする国内線を利用することで、オリンピック・パラリンピック観戦の前後に、千葉県を拠点に経済的かつ効率的に国内の様々な観光地を訪れることができます。

○様々なニーズに対応できる充実した宿泊施設

千葉県には、成田空港から会場に近いエリアまで、上質なサービスを提供できるシティホテルや旅館、リーズナブルなビジネスホテルなど5万室以上の宿泊施設を有しています。

また、山中の温泉宿や海のきれいなリゾートホテルなど、ファミリーから一人旅まで様々なニーズにあった宿泊施設を選ぶことができます。

○安全・安心な「まち」

千葉県では、駅周辺などの人通りの多い場所を中心に多くの交番や駐在所を設置しています。さらに、パトカーや移動交番車、街頭防犯カメラなどが、まちの安全を守っています。

また、けがや病気の際の医療サービスの提供や、宿泊地や観光地において地震・津波などの災害への備えが進み、さらに災害時における支援体制により、安全で安心な旅行を楽しむことができます。

○過ごしやすい気候

千葉県は、沖に流れる黒潮（暖流）の影響を受け、豊かな自然と温暖な気候に恵まれており、夏はマリンスポーツに、冬はプロ野球やJリーグなどの合宿地になるなどスポーツには最適な場所です。

また、南房総や外房エリアでは、冬でも海水温が高く、多くの方がサーフィンに訪れるなど、年間を通じ、観光、スポーツを楽しむことができます。

Convenient : 便利な Comfortable : 快適な

② Hospitality & Health (おもてなしの心で満足と元気を届けるCHIBA)

○おもてなしの心でお迎え

人と人とのふれあいを大切にし、多様な価値観、異文化を尊重する文化が根付いており、あたたかいおもてなしの心が溢れています。

訪れた先々で、おもてなしの心に包まれ、あたたかい触れ合いを感じることができるでしょう。

○通訳ガイド・外国語ボランティアガイドの充実

通訳ガイドや外国語ボランティアガイドが地域の観光をご案内しており、地域住民とのふれあいを通じて、文化に触れ、観光を楽しむことができます。

○外国人にも分かりやすい表示

観光地周辺では、外国語などによる案内表示が設けられ、初めて訪れた人でも安心して観光地を巡ることができます。観光施設では、日本文化に馴染みのない外国人の目線も尊重した分かりやすい案内、外国語で作成したガイドブックなどにより、言語や文化の壁を超え、誰でも安心して観光や食を楽しむことができます。

○ユニバーサルデザイン※を取り入れた空間

交通機関や各種施設では、外国人、障害のある人、高齢者はもちろんのこと、誰もが移動しやすい、ゆとりある空間が整備されています。

また、光や音、香り、肌触りなど視覚や聴覚といった五感で認識できる情報により、快適な空間で旅を楽しむことができます。

○「する」「みる」「ささえる」スポーツ

山あり海あり川ありの多様で豊かな自然は、マリンスポーツをはじめ国内でも有数のアウトドアフィールドです。スポーツイベントも盛んで、ロードレースやトライアスロン、サーフィン、サイクリングなど、房総の豊かな自然の中でスポーツと観光を楽しむことができます。

また、野球、サッカー、バスケットなど日本トップレベルのプロスポーツチームが活動し、各チームの活躍が地域を元気にしています。また、障害のある人も障害のない人も、子どもから高齢者まで、身近な地域でコミュニケーションの場としてスポーツを楽しんでいます。このような環境の中で、合宿に訪れたチーム・選手たちは、地域を挙げた応援により気持ちよく力を発揮できるでしょう。

Hospitality : おもてなし Health : 健康

③ Innovative & Informative (先端技術でお出迎えするCHIBA)

○公衆無線LANの普及

主要な観光地や宿泊施設、鉄道・バス等の公共交通機関には、公衆無線LANサービスが設置されています。

日本を初めて訪れた外国人旅行者でもタブレットやスマートフォンからインターネットを通じて、移動ルートや移動手段、観光情報などを外国語で、無料で入手することができ、一人でも安心して県内観光を楽しむことができます。

○ICT※を活用した多言語による観光案内

多言語に対応したスマートフォン用アプリ等を活用し、観光地までのルートや移動手段の案内、観光地や施設の情報、旅行先での文化や習慣等、多様な情報を提供することで、快適な滞在、周遊を楽しむことができます。

○時代を先取りした産業技術の発信

千葉県には、先端技術をもつ企業、大学・研究機関が集積しています。バイオ、医療、福祉、健康、環境、新エネルギー分野など先端技術、日本のものづくり技術をご覧いただくことができます。

Innovative：革新的な Informative：情報価値のある

④ Beautiful & Bountiful (風光明媚、食の宝庫CHIBA)

○昔からのまち並み ～房総の歴史～

千葉県には江戸時代に栄えた城下町、門前町など、歴史的な景観が残っています。水運の街として栄えた香取市や流山市、成田山を中心に門前町としてにぎわった成田市など、それぞれの地域で貴重な町並みの保存や歴史と伝統を生かしたまちづくりに努めており、現代においても歴史的風情を感じることができます。

○美しい和食 ～地域の食材を活かした郷土料理～

県内各地では、四季折々の食材を採り入れた見た目にも美しい和食を味わうことができます。また、新鮮な材料を使った「なめろう」や「さんが焼き」などの魚料理や、華やかな「太巻き祭りずし」など、魅力的な郷土料理の数々を味わうことができます。

○豊富で新鮮な農林水産物

豊かな自然や温暖な気候に恵まれた千葉県は、日本屈指の農林水産県でもあります。新鮮な野菜や旬の果物、海の幸など、あらゆる農林水産物が豊富に生産されており、その土地で獲れたものをその土地で味わうことができます。そして、これらの美味しく新鮮な農林水産物は、地域にある道の駅や直売所で購入することができるほか、東京から日帰りで収穫や農林漁業体験を楽しむこともできます。

Beautiful : 美しい Bountiful : 豊富な

⑤ Adventure & Amusement (見る・遊ぶ・体験できるCHIBA)

○魅力的な観光スポット

千葉県は、海や川に囲まれ、房総半島内陸部には緑豊かな森林が広がるなど、豊富な自然に恵まれ、サーフィンをはじめとするマリンスポーツ、サイクリングなどのアウトドアスポーツ、キャンプやハイキング、釣りなどのアウトドアライフを楽しむことができます。

また、世界に誇る東京ディズニーリゾートをはじめとしたテーマパーク、アウトレットなどの商業施設が充実しています。遊び・食・ショッピングなどの多様なテーマに応じ、日常とは一味違った空間を日本のおもてなし文化と共に満喫することができます。

○特色ある多様な文化

豊かな自然環境に恵まれた本県には古くから人々が暮らし、紀州・江戸・鎌倉などとの経済的・文化的交流のなかで、特色ある多様な文化がはぐくまれてきました。

首都圏に位置し、日本の空の玄関である成田空港を抱え、人や物、情報が活発に交流する中で、現在でも、様々な文化芸術活動が盛んに行われており、新しい文化と古くからの文化が織りなす新しい「ちば文化」を体験することができます。

Adventure : 冒険 Amusement : 娯楽

3 取組の方向性

東京オリンピック・パラリンピックの開催効果を本県の一層の発展につなげ、その効果を次世代にしっかり引き継いでいくためには、県のほか市町村や民間企業・団体・大学などが連携し、「オール千葉」体制で進めていく必要があります。

ここでは、「オール千葉」体制で進める取組の方向性を5つの分野で示します。

キャンプの誘致と スポーツ振興による 地域の活力づくり

国際的に活躍できる選手の育成、キャンプの誘致など、トップアスリートの活躍を通じたスポーツ振興による地域の活力づくり

人と物のスムーズな 流れの確保

選手や観光客がスムーズに移動するための、成田空港の利便性向上や交通アクセスの充実

魅力ある 観光地づくりと おもてなし力の向上

外国人などの観光客が安心して周遊でき、楽しめる観光地づくりと県民挙げてのおもてなし力の向上

大会のサポート

オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成やボランティア人材の確保など、総合的な支援・協力を通じて、大会の成功をサポート

戦略的な千葉の魅力発信

千葉県の魅力が国内外に認知され、何度でも訪れたいくなるような世界に向けた戦略的な魅力発信

(1) キャンプの誘致とスポーツ振興による地域の活力づくり

【期待される効果】

キャンプ誘致は、地域のイメージアップが見込める絶好の機会であり、「施設の有効活用」や「地域スポーツのレベルアップ」といった効果が期待できるほか、これを契機に地域住民の交流が深まり地域の活力に繋がることが期待されます。

また、本県で育った選手が日本、そして世界のひのき舞台で活躍することは、県民に感動と勇気、希望、誇りを与え、スポーツを通じた地域の活力づくりに大きな役割を果たすことが期待されます。

【取組の方向性】

○それぞれの国、競技にマッチしたキャンプ受入の体制づくり

オリンピック・パラリンピックは、200を超える国や地域から選手が参加し、競技数は50、種目数は300を超えます。「キャンプ誘致」における受入側の対応として、キャンプする国や地域、競技によって、それぞれ競技施設や宿泊施設、交通アクセス、リラクゼーションなど多様なニーズがあります。

「スポーツ振興」「観光」「交通」「医療」など、それぞれの分野と連携し、官民一体となって、キャンプ誘致に向け受入体制を整備していきます。

○世界選手権などプレ大会のキャンプ誘致

国内又は近隣国で行われる世界選手権大会や、オリンピック・パラリンピックの前年、前々年から行われるプレ大会等でキャンプしたチームや県内で行われる国際大会に参加したチームから良い評価を得られれば、競技団体等を通じて、世界中にキャンプ地としての評判が広がることも考えられます。

キャンプ地としての評価を高めることにより、大会期間中はもとより、オリンピック後にも、国内外の多くのスポーツキャンプを呼び込むことに繋がっていきます。

○MICE※の積極的な誘致

オリンピック・パラリンピックではキャンプのみならず、審判団の研修会等、関係者による会議も開催されます。また、オリンピック・パラリンピックに関係した会議以外にも、注目の集まる日本で様々な国際会議やイベントが開催されることが期待されます。こうしたチャンスを捉え、本県へのMICE誘致を積極的に進めます。

○2020年に向けた競技力の向上

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに、千葉県出身の選手を一人でも多く輩出し、県民に元気と勇気を届けることができるよう、アスリートの発掘・育成・強化に取り組めます。また、競技種目の特性や障害の状態等も踏まえながら、可能な限りオリンピック・パラリンピックに挑戦する選手が同じ環境で練習することにより、オリンピック選手とパラリンピック選手が一体となった強化が図れるよう競技団体と連携していきます。

○子どもたちが、オリンピック・パラリンピックを「みて」「ふれて（体験）」 「ささえて（チーム、選手の応援）」感動を体験するための取組

子どもたちが実際に選手を見て、競技を体験することは、子どもたちに夢を与え、スポーツの楽しさや、喜びを体感するきっかけとなります。様々なスポーツの国際大会やイベントを通じ、一流選手の活躍を間近に見たり、応援したりすることで、子どもたちのスポーツへの関心を高め、東京オリンピック・パラリンピックへの機運を盛り上げていきます。

○パラリンピック競技や障害者スポーツの普及・振興

パラリンピック競技への関心は、オリンピック競技と比べると未だ高いとはいえません。パラリンピック選手のキャンプや学校での授業を通じて、パラリンピック競技への興味や関心を高めたり、パラリンピックボランティアとして活動するなど「オール千葉」でパラリンピック選手を応援することにより、障害者スポーツの普及に繋げていきます。

また、ユニバーサルスポーツ*の普及などを通じて、障害のある人への心のバリアを取り除くとともに、障害のある人と障害のない人が一緒にスポーツを楽しめる共生社会を目指していきます。

○県民のスポーツ振興や健康づくり機運の醸成

スポーツの大会・イベントや国内外チームのキャンプは、トップアスリートと地域住民との交流や、選手や地元住民の間にホームチームであるという意識が芽生え、住民同士のコミュニケーションが広がり地域の活性化が期待されます。また、子どもから大人、高齢者や障害のある人など、すべての人のスポーツに対する興味・関心を高め、健康づくりへの機運の醸成にも繋がります。

スポーツ大会やキャンプが一過性のもので終わることなく、スポーツを通じた交流の場が充実し、今後の地域活性化に繋がるよう、誰もが利用できるユニバーサルデザインの導入や、スポーツ施設や観光施設を活用したスポーツツーリズムの推進などにより、健康づくりの機運の醸成に取り組んでいきます。

(2) 人と物のスムーズな流れの確保

【期待される効果】

成田空港に降り立った選手や観光客がストレスを感じることなく、空港と競技会場の移動はもちろん、県内各地へスムーズに移動できる交通アクセス環境をつくることは、千葉県が国内外から来訪するのに便利であるといったイメージを定着させ、大会後も観光客が県内の観光地の周遊などに何度も足を運び、これまで以上に多くの人々が千葉県を訪れてくれることが期待されます。

【取組の方向性】

○成田空港のネットワークの強化・充実

成田空港発着枠30万回化やオープンスカイ^{*}の推進等による国際ネットワークの充実、専用ターミナルの整備等によるLCC（格安航空）や国内線の拡充により、グローバルハブ空港^{*}としての機能維持・強化に取り組んでいきます。

また、ネットワークの充実に加えて、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、今後増大が見込まれる成田空港からのヒト・モノの流れを、県全体に波及させて本県経済の活性化を図るために、成田空港活用協議会との連携によって、官民一体となった取組を進めます。

○県内外のスムーズなアクセスの強化

空港と競技会場や県内外のスムーズなアクセスを強化するため、東関東自動車道・京葉道路や圏央道・アクアラインを活用したルートの交通円滑化に向けた取組を促進するとともに、「県内観光エリアへのアクセス」や「空港周辺道路」の整備推進、更に主要な道路の交通渋滞の改善などに取り組んでいきます。

また、鉄道・バスに加え、外国人の県内観光地への移動にレンタカーの活用をしやすいとする検討を進めるなど、国内外からの観光客に県内を周遊してもらうための取組を進めていきます。

○年齢・障害を問わず観戦・観光を楽しむためのバリアフリー化の促進

東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に千葉県を訪れる人々が、訪れたそれぞれの地域において、高齢者も障害のある人・障害のない人も一緒に観戦や観光を楽しめる旅・滞在を創り出していくため、バリアフリー化を促進します。

(3) 魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上

【期待される効果】

2020年に向け県内各地域の観光資源を一層磨き上げるとともに、地域の人々が来訪者をあたたかくお迎えできるよう、「おもてなし」の心を育むことにより、国内外の多くの方々から選ばれる地域となり、県内各地域の活性化や国際観光地としての地位の確立に結び付くことが期待されます。

また、ハード・ソフト両面での災害への備えは、国内外の旅行者に安全・安心をもたらすおもてなしであり、観光地としての千葉の魅力が更に高まります。

【取組の方向性】

○宿泊施設等における世界各国の言語、生活習慣、食文化などへの対応

世界の様々な国や地域から訪れる観光客に、安心して滞在・周遊いただけるよう、宿泊施設や文化施設、医療機関、観光施設、飲食店等における外国語表記など施設面での改善のほか、スタッフの外国語対応力の充実などを促進します。

さらに、それぞれの国や地域の生活習慣、食文化などにも配慮した、あたたかい「おもてなし」ができるよう、官民が連携して取り組んでいきます。

○多言語に対応した外国人旅行者受入体制の整備

本県の各観光地を訪れる外国人旅行者が安心して旅行できるよう、道路の案内標識の英語表記、多言語で表記された観光案内板や公衆無線LANの整備など、ハード面の整備を進めます。

また、ソフト面では、多言語に対応した千葉県の観光地や宿泊施設、飲食店等の情報を、スマートフォンやタブレットへ提供するシステムやコンシェルジュ機能の検討、ガイドブックの作成等、総合的な外国人旅行者向けの情報提供を充実するとともに、おもてなしの心で対応できる外国語ボランティアガイドや通訳・語学ボランティア等の養成など、ハード・ソフト両面で外国人旅行者の受入体制の整備を進めます。

○安全・安心の確保

観光客が安心して旅行を楽しめるよう、防犯意識の醸成、犯罪の起こりにくい環境の整備により、地域の防犯力の向上に取り組むとともに、旅行者のけがや病気へのサポートを行います。

さらに、防災・減災対策として、防災基盤の整備や県内全域の防災力の向上を図り、「安全・安心な千葉県」を積極的にアピールすることで、観光客が安心して訪れることができる環境づくりを進めます。

○観光地の景観形成

観光地の魅力を高めるためには、観光地における景観の質と快適な環境の向上が重要です。また、おもてなしの気持ちを言葉や態度に加えて、ベンチや花などの形で表現すると、多くの人に良い印象を与えます。

このため、観光地における良好な景観の形成を図ることで、その魅力を一層高め、来訪者の増加や地域ブランドイメージの向上、地域コミュニティ活動の活性化に繋がります。

○リピート客獲得に向けた取組

東京オリンピック・パラリンピックの開催年はもとより、その前後においても、国内外の多くの方に選ばれる観光地づくりが求められます。

そのため、「来て良かった」、「また来たい」と思われる観光地を目指し、交通アクセスの改善や、観光公衆トイレ美化などの受入環境の整備を進めるほか、千葉ならではの土産の開発や美味しい食材の活用、日帰りや短期滞在でも十分楽しめるグリーン・ブルーツーリズム[※]の提案、効果的な観光PRの実施など、トータルでの観光地の魅力向上に努めます。

○外国人とのコミュニケーション力の向上

東京オリンピック・パラリンピックを契機として県民が訪日外国人等と接する機会がこれまで以上に増えていきます。積極的なコミュニケーションにより訪日外国人をあたたかいおもてなしの心で迎えるため、学校や地域において語学力の向上を図るとともに、異文化理解を深めます。

(4) 大会のサポート

【期待される効果】

東京オリンピック・パラリンピックを成功させることは、スポーツの振興、国際交流の推進、多文化共生社会の実現などの絶好の機会になるとともに、日本の国際的な信頼を高め、日本全体に自信と夢と希望を与えることとなります。

【取組の方向性】

○東京オリンピック・パラリンピックの総合的な支援

大会の成功に向け、オリンピック・パラリンピックの機運を醸成するとともに、ボランティア人材の育成・確保、医療スタッフ等の派遣要請への対応のほか、テロ等違法行為の未然防止など大会の安全な運営に向けた警備等の諸対策を行い、大会を総合的に支援・協力していきます。

○大会と連動した選手や訪問客とのふれあいの機会の促進

大会の成功に向け、多くの県民の大会への参加や理解を深めるため、選手、大会関係者や訪問客等とふれあい、交流できる機会や県内各地域における国際交流イベントの開催の促進や情報発信により、大会に向けた機運の醸成を図ります。

(5) 戦略的な千葉の魅力発信

【期待される効果】

千葉県の魅力が国内外に認知され、本県の知名度やイメージが高まることにより、国内外から訪れる人々に、訪問地や宿泊地として選択され、何度でも訪れていただける地域となり、地域社会・経済の活性化や交流人口の拡大につながります。

【取組の方向性】

○ターゲットを広げ、全国、世界に幅広く発信

これまで首都圏やアジア地域を主なターゲットとしていましたが、広く全国や世界に向けて千葉の魅力を発信していきます。

○千葉県ならではの新たな魅力を発見し、磨き上げ、発信

千葉の隠れた魅力に加え、世界に通用するテーマで、千葉県ならではの新たな魅力の掘り起こしを行い、磨き上げ、積極的に発信する取組を継続的に実施します。

○郷土の歴史や文化を発信

県民の郷土への愛着と誇りを醸成するとともに、本県の歴史、伝統、風土及び人々の文化芸術活動など豊かな文化的魅力を国内外に発信します。また、県内の博物館や文化施設などを活用した新たな魅力の掘り起こしを行います。

○オール千葉で多様な魅力を発信

東京オリンピック・パラリンピックに向け、オール千葉でブランド力を高め、官民一体となった幅広いプロモーション活動を展開します。

4 取組に当たって

○「オール千葉」で取り組むための体制づくりと仕組みの構築

東京オリンピック・パラリンピックの開催効果を本県の一層の発展につなげ、その効果を次世代にしっかり引き継いでいくためには、県のみならず、市町村や民間企業・団体・大学などがそれぞれ主体的に取り組むとともに、互いに取組の方向性を共有しながら連携し、相乗効果を生み出していく必要があります。

そこで、いち早い情報収集と県、市町村、民間等との情報共有・連携プレーを行うため、官民一体となった「オール千葉」での体制づくりと、ハード・ソフト両面から千葉の魅力を高め、キャンプや観光を通じて来訪者に千葉の魅力を大いに実感していただく仕組みの構築に取り組んでいきます。

《用語解説》

●オープンスカイ

従来、国際線の乗り入れについては、航空会社の数や路線、便数などについて、二国間の政府交渉で取り決めて制限していましたが、この制限を二国間で相互に撤廃する航空自由化のことです。これにより航空会社は、就航都市や便数を自由に定めることが可能となります。

●グリーン・ブルーツーリズム

都市の人々が農山漁村生活や農林漁業体験を通じ地域の人々と交流したり、川や海・田園景観などふるさとの風景を楽しむ余暇活動のことをいいます。

●ハブ空港

航空ネットワークの中核となる空港のことです。

●ユニバーサルスポーツ

障害の有無や年齢に関係なく、誰もが一緒に実践できるスポーツ、また、体力、体格などで有利な人だけがゲームの主導権を握り、活躍するのではなく、それらに劣る人も同じように得点獲得や勝敗にかかわることができるよう考案され構造化されたスポーツのことです。

●ユニバーサルデザイン

年齢、国籍、性別、個人の能力を問わず、誰もが可能な限り利用しやすいように、特別仕様のデザインすることなしに、製品、建築物、環境をデザインすることです。

●ICT

「情報通信技術」(Information and Communication Technology) の略です。

●MICE

企業等の会議 (Meeting)、企業等が行う報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際会議 (Convention)、イベント・展示会・見本市 (Event/Exhibition) の頭文字で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。